

第2部：岳都松本から考える

「日本・イラン合同マナスル遠征隊、日本・イラン ダマーヴァンド峰親善登山隊の経験から」

2026年5月24日（日） 10:00～13:00

松本市中心公民館（Mウィング）会議室

会場 30名（オンライン5名）

講演1 「友情はマナスルを越えて」

田村 宣紀（長野県山岳協会顧問【元会長】、両登山隊 隊長・登攀隊長）

交流の発端は、1971年に広域アジア登山計画「とびだせ信州」で、第1隊はイランのダマーヴァンド山（4000m）をスキーで滑降した。第2隊は、トルコとイランと登山。その後、イランの登山協会メンバーを長野に招き、そこでヒマラヤ山脈マナスル共同登頂（8000m）の案が決まった。1976年8月に、日本隊10名、イラン隊9名がカトマンズに集結、荷物が16トン、シェルパが37名、ポーターが527人、計600人の大部隊だった。7500メートルの地点から、アサデ（イラン）、影山、シェルパ、がアタック、氷、雪、寒さのなかを一步一步進み、頂上に到達した。登頂の経緯については、外務省の「Pasific Friend」(<https://x.gd/9lBo1>)を参照のこと。



2016年にマナスル登頂40周年記念「ダマーヴァンド親善登山」を実施、日本隊13人（女性含む）、イラン4人。8月9日、斜面の氷河、噴煙、山頂は雪、7時間の登頂だった。登山後、イランの遺跡を訪問し、またマナスル登頂メンバーとの交流を果たした。



今 2 月 28 日にイスラエルと米国の、理不尽なイラン攻撃がはじまり、通信が 3 月に途絶えた。5 月に友人からメールがあり、命に別状はないとわかった。スマホも通じない。無事をいのること、励ますことしかできない。なぜ、こんなことが起きたのか、関心を持ち続けることが自分のつとめだと思っている。

動画記録（講演者 田村宣紀氏製作）

友情はマナスルを越えて
1976 年日・伊合同登山隊
マナスル登頂



<https://x.gd/Tf0By>

イラン
ダマバンド親善登山隊
2016 年



<https://x.gd/Qp7X4>

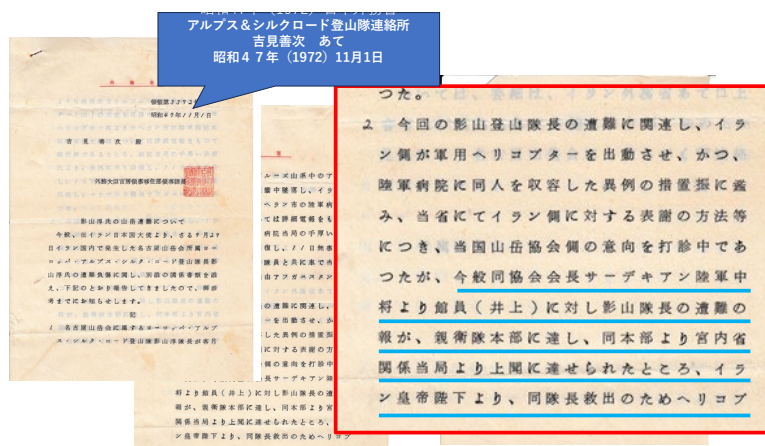
講演2 「日本人として初めて越えた4つの中東国境」

講演者：影山 淳（登山家、(株)マルコ・ポーロ ジャパン代表取締役、輝けかけがわ応援大使、日本・イラン合同マナスル登頂者）

マナスルの登頂者影山氏が「国境」をテーマに、自身の「旅」と「事業（製茶）」について、スライドを用いて講演。

・「我マルコ・ポーロとならん」 2003～2010年に、マルコ・ポーロの『東方見聞録』の旅程をたどり、自転車でのシルクロードを踏破（トルコ～イラン～パミール～中央アジア～モンゴル～中国の北京まで）。

・名古屋山岳会アルプス&シルクロード登山隊への参加とアラム・クー北壁での滑落事故
1972年名古屋山岳会のアルプス&シルクロード登山隊へ参加し、ドリュエ北壁、グラント・ジョラス中央側稜、マッターホルン北壁等を完登。ローマを経て、シルクロードを東進して帰国の途次、タクティ・スレイマン山塊の主峰アラム・クー（当時日本人未踏、標高4,848m、イラン第2の高峰）北壁を、名古屋山岳会押谷嘉浩隊員と登攀中、頂上直下で、40m滑落した。幸い手足の骨折はなかったが、ガイドのアブドリィー氏の尽力により、テヘランのイラン山岳連盟会長のサディレアン將軍の耳に当事故が伝わり、やがて、時のパハレビー国王へ伝わり、ヘリコプターの出動となった。ヘリコプターに乗った私は、首都テヘランに向けて飛んでいることを知り、事の重大さに気がついた。三井物産の丸子博之さんにも大変お世話になり、スポーツ大臣、アリ・ホッジャーが度々見舞いに来てくれた。事後、日本の外務省から、パハレビー国王へ感謝電が打たれました。



10日間の入院後、足を引きずりながら、アフガニスタン、バーミヤンを経て、ガンジス河をわたり、ネパールのカトマンズでローマからの走行距離 13,000 kmの旅を終えた。



・ マナスル遠征隊

1974年 イラン山岳連盟会長、サディレアン中将が、国連アジア極東地図会議出席。影山が富士山7合目まで同伴し、八ヶ岳経由、長野市へおつれした。吉沢、町田、加藤幸、田村各氏が出迎え。吉沢氏から、日・イ合同ヒマラヤ遠征計画が伝えられた。

影山氏から見た。マナスル登頂の経緯については、「日本・イラン合同（登山隊）の成り立ち」をご参照ください。

日本・イラン
合同（登山隊）の成り立ち



<https://x.gd/qaEbE>

動画
我、日本のマルコ・ポーロとならん
（東京新聞）



<https://x.gd/7TFAe>

動画「我、日本のマルコ・ポーロとならん」は影山氏の同名の著書（2011年東京新聞出版局）と資料提供を基に、田村氏が制作されたものです。

・日本人として初めて越えた4つの中東国境。2010～25年の経験。

①アゼルバイジャン・イラン アスタラ国境

②アゼルバイジャン・トルコ国境 テュルク回廊国境

③パキスタンとアフガニスタン国境 Irshad Pass

④タジキスタン・中国国境 Nezatash pass



・イラン人との交流はいまでも続いていて、戦争開始後も、WhatsApp というアプリで交信（会話）ができることもある。

日本人として初めて越えた4つの中東国境の詳細は、以下のURL・QRコードから、PDFファイルをご参照ください。



<https://x.gd/xk30p>

(以上)